

せい ろ が い せん き ね ん ほ う の う え ま 征露凱旋記念奉納絵馬

●所在地／上吾川 伊豫岡八幡神社 ●所有者／伊豫岡八幡神社

この絵馬の寸法は、縦 181cm、横 214cm。板材を横並びに接ぎ、吸付き^{さん}棧で固定した画面に、砲弾が飛び交う激しい戦場にあつて赤十字の腕章をつけた救護兵たちが負傷したロシアの敵軍将校を救護する様子を描いている。日本画の技法で、空間は板地をいかして彩画部分のみ胡粉^{こふん}下地を施し、朱・岱^{たい}緒・藍・墨などの絵具で彩画している。右下には「平安 其峰」の署名、裏面には氏子などの寄付者名や製作者名が墨書きされている。

明治 39 年（1906）5 月、日露戦争から無事帰還した下吾川^{しもあがわ}氏子 23 名によって当神社に奉納された。下吾川の農村兵士たちが、ロシア負傷兵に対して人類愛を貫いていたことを産土神^{うぶすながみ}に報告し、後世に語りかけている貴重な文化財である。

